新屬と査定して学名を改訂したものである。其他從來東北米に產すると知られた *Schenella* 及び *Lamprodermopsis* の 2 屬のものは，猶將來の檢討を要する疑問種であるとして削除してある。

**○日本種子植物集覽第一册の出現を報ず**　（久内清孝）

植物に関係あるものにとり，学名及び其出典の穿さくは絶対的に必要なことでありながら，その実行には，多大の労力をかたむけなければならず，從つて，相当な時間を空費することを覚悟しなければならない。この労力と時間を節約するためには，簡單にその目的を果し得る，辭書様のものがあれば至極便利である。そのため，從來故松村任三博士の帝國植物名鑑 3 巻が，永年植物学者の机上からはなれなかつた。恐らく今迄の人でこの本の厄介にならなかつた人はなからう。しかし，時代の進歩と学問の進展による必然の結果として，永らく親んで來たこの書も，一般の要求を充すには充分でなくなつたので，之に代るべき書の出現が期待されつつも，今日までその曙光も見られなかつたのであつたが，東大助教授前川文夫同原寛両博士は，敢然この大業を企図し，裸子植物，單子葉植物，離瓣花類等を前川氏，合瓣花類,離瓣花類を原氏が各々分担し，多年に亘り鋭意論著に従事中のところ，今回まづ，原氏の分担する部門の前半即ちイチヤクソウ科からオホバコ科に至る 33 科が完成された。今これを通覧するに，著者の良心的判断に基く適切な学名が採択され，かつ其下に必要な異名も並記され，現段階に於ける適当な名称が一応確立された次第で，この間著者の相遇された困難とそれを克服した努力に対しては多大の敬意を表する次第である。またこの出版を決断した出版者の英断に対しても同様である。尙続巻の出現につき，一層の努力を吾人は著者と出版者に期待する。（岩波書店 A5 判 300 頁 属名及和名索引 34 頁）。

---

## 讀者諸氏へ

本誌第 23 巻は本號を以て完結とする。

第 24 巻は本誌を創始された牧野富太郎先生の米壽を御祝する記念号として 39 篇に上る論文を載せ，本年 12 月に発行の予定である。

## Notiec

Vol.23 of this Journal is concluded by this number.

Vol. 24 will be published in December 1949 as a jubilee volume commemorating the 88 th. anniversary of Dr. T. Makino.